

平成23年度
全国中学校
体育大会

第40回

全国中学校ハンドボール大会で優勝しました！



昨年の8月18日～20日の3日間、京都市で開催された「第40回全国中学校ハンドボール大会」で、市立西中学校ハンドボール部女子が見事に優勝しました。今号では顧問の先生やコーチ、選手たちによる4年ぶり、4回目の全国優勝という輝かしい軌跡を振り返り、改めてその栄誉を称えたいと思います。

西中学校ハンドボール部女子は現在の尾石顧問（同校教諭）の下、4年前に史上初の全国大会3連覇の金字塔を打ち立て、その時は春の全国大会も制し、春夏連覇の快挙を成し遂げています。今やその実力は、全国に知れ渡っています。

輝かしい軌跡を たどる



スポーツ祭東京2013「ゆりーと」

▲優勝を決めた直後の記念撮影。まぶしい笑顔をパチリ。準決勝から、馬場市長と永田教育長も応援に駆けつけました。

「ハンドボールを通して被災された方々を元気づけられるよう頑張ろう」という熱い思いが述べられ、会場は一体になりました。

西中学校ハンドボール部女子の試合

は、大会初日の午後から始まりました。初戦は宮崎県の三松中学校に、32対17で勝利しました。

二日目は準々決勝、富山県の水見十三中学校との対戦。延長にもつれ込む大接戦の末、28対26で勝利しました。尾石顧問の大学時代の後輩に当たる同校の大道監督は、試合後に尾石顧問と握手を交わされ、「西中学校が優勝することを願っています」と激励されたそうです。



▲決勝戦の休憩中。会場は熱気に包まれ、両校の応援で騒然としている。控えの選手の団扇を仰ぐ手にも力が入る。チームのモットーである、「気合い、間合い、高め合い」精神を再確認してゴー！

全員の自己紹介等の後、市長、富田市議会副議長、教育長、寺本体育協会会長からお祝いの言葉が述べられ、続いて、花束贈呈が行われました。

尾石顧問は現在のチームの特徴について、「難関問と共に、スピードとダイナミックスを兼ね備えたスケールの大きいチームを目指して練習してきた。選手たちはふだんから文武両道の精神を備えており、勉強にもスポーツにも全力投球している。今回の大会では十分に発揮できたと思う」と語られました。このバランスの良さが、彼女たちの強さにつながっているのではないのでしょうか。

そして、「出場することができたのは保護者や東京都・市の関係者のおかげであり、また、最高の大会に盛り上げてくれた京都府の大会関係者の皆さんに感謝したい」と話されました。

主将の大畠さん（3年生）は試合を振り返り、優勝報告会で次のように伝えました。

「先ずは今回優勝できたことが大変うれしい。一昨年の宮崎県大会、昨年の広島県大会ではいずれもベスト8で敗退。当時、中学1・2年生だった部員たちは、悔しい思いをした先輩たちをずっと見てきた。今年は『一戦一戦を大事に戦っていい。試合を楽しむ』をモットーに臨んだ。しかし、1戦目はとても緊張した。2戦目はなかなか

4年ぶり4回目の優勝！

また、準決勝から応援に駆けつけた馬場市長は、「1点差まで詰め寄られたが、終始、西中学校が試合をコントロールし、相手を寄せつけない強さを感じられ、安心して試合を観ることができた。チーム全体の技術

力や精神力が光る素晴らしい試合だった。感動をくれてありがとう」、永田教育長は「準々決勝で劣勢を克服して臨んだ準決勝、決勝の応援をすることができた。決勝は終始僅差だったが、選手たちは自信を持って試合をしていたので優勝を確信し、安心して応援できた。日々の厳しい練習と試合を通しての自信は素晴らしいものだ」と感動したと、それぞれ話されました。

感謝の気持ちが述べられた優勝報告会

全国優勝した興奮の余韻が冷めぬ中、8月29日に市役所で優勝報告会が行われ、選手、校長や顧問等の先生方が出席されました。優勝までの経過報告、選手

今までありがとう…
第四小学校が閉校します

平成24年3月末で、東部地域の市立第四小学校が閉校します。市立学校の閉校は、西部地域の滝山小学校、中部地域の第八小学校に続き、3校目となります。詳しくは2面をご覧ください。

祝 全国大会出場

都立東久留米総合高校が、「第90回全国高校サッカー選手権大会都大会」のAブロックで優勝し、全国大会に出場されました。前身の都立久留米高校時代も全国大会に2回出場し、統合後も一昨年に続き、今回で2回目となります。

市内には勉強やスポーツ、文化活動などで日ごろから練習に精を出し、努力している児童・生徒がたくさんいます。これからも皆さんのご声援をお願いします。



大畠虹帆さん

乗り越えたベスト8の壁！

に感謝している。休日返上で指導してくれた顧問や多くの方のおかげで優勝することができ、恩返しができる。「私たちは今年、感謝」ということを学んだ。被災された方がいる中でも自分たちはハンドボールができることへの感謝、支えてくれる周囲への感謝を通してたくさんの方のことを学ぶことができた。最高の夏を過ごせたことに感謝している」。